

# 2019年3月28日機能強化

アルファメール2は、2019年3月28日に以下機能の強化を実施しました。

→アルファメール2 機能強化のお知らせ ([https://www.alpha-mail.jp/new/service/2019/0320\\_8556.html](https://www.alpha-mail.jp/new/service/2019/0320_8556.html))

本資料では機能強化部分の操作方法を説明しております。

| 機能名   |           | ページ数      |
|-------|-----------|-----------|
| 利用者機能 | 古いメールの管理  | P.2 ~ P.3 |
|       | 転送設定      | P.4       |
|       | 迷惑メールフィルタ | P.5       |

# 古いメールの管理

圧縮された古いメールをダウンロードしたり、削除したりすることができます。

## 古いメールの管理とは

メールサーバの負荷を軽減するため、メールボックス内に残っている3ヶ月以上前のメールを月ごとに圧縮します。

### ■ 圧縮のタイミング

毎月第一日曜日

### ■ 圧縮の対象となるメール

メールボックス内に残っている3ヶ月以上前のメール

### ■ 圧縮の方法

月ごとに、ZIP ファイル形式で圧縮

### 注意

一度圧縮されたメールは、再びメールボックスに戻すことができません。  
メールボックスの初期化を実行した場合、圧縮された古いメールも削除されます。

## 圧縮された古いメールをダウンロードする

圧縮された古いメールは、ダウンロードすることができます。メールはファイル形式、ファイル形式「.eml」で保存されています。ダウンロード後、メールソフトへインポートすることも可能です。



### 1 利用者メニューを表示し、「古いメールの管理」をクリックします。

※利用者メニューの表示方法→「利用者メニューにログインする」(P.24)

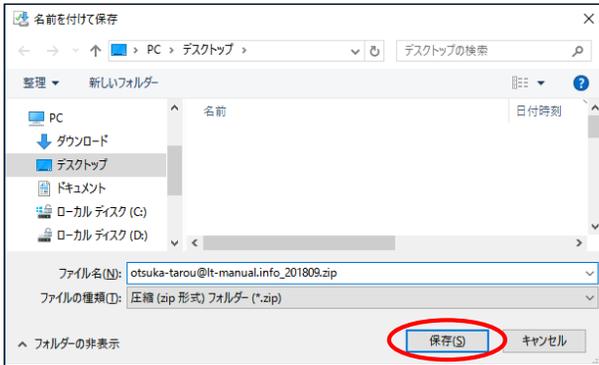


### 2 取得する期間の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

ダウンロード画面が表示されます。



3 「名前を付けて保存」をクリックします。



4 任意の場所に保存します。

#### 注意

ダウンロードしたファイルは、ZIP 形式で圧縮されています。メールの内容は、解凍してご覧ください。

## ■ 圧縮された古いメールを削除する

不要になった古いメールは、削除することができます。

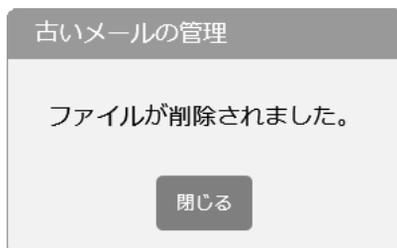


1 古いメールの管理画面を表示し、削除する期間の「削除」ボタンをクリックします。



2 削除してよければ「削除」ボタンをクリックします。

正常に削除されると、次手順のような画面が表示されます。



3 削除が反映されます。

# 転送設定

## メールの転送条件を設定する

転送条件欄の「From」が、1アドレスから、最大5アドレスまで設定できるようになりました。

転送設定

届いたメールを別のメールアドレス宛に転送します。

- 転送したメールのコピーを元のアカウントのメールボックスから削除したい場合は、「コピーを残さない」を選択してください。
- 「コピーを残す」を選択した場合、メタデータが継承されたままになりますので、メールソフトで受信して削除する必要があります。
- 件名、From、To/CC、日付、曜日、時間帯別に、より詳細な条件を追加したい場合は、「条件設定」欄の歯車のアイコンをクリックしてください。
- 条件設定が行われているアドレスには、チェックマークが表示されます。
- 「サーバにコピーを残さない」を選択し、転送条件に当てはまらない場合は、メールが送信されずサーバに残りますので、ご注意ください。
- 文字列を入力欄に貼り付けた場合、入力制限を超えた文字列は自動的に切り取られます。

**保存設定:**  コピーを残す  コピーを残さない  
 転送先からのエラー配信先を administrator@it-manual.info にする。

- 転送したメールが転送先に届かない場合、通常は送信元エラーメールが配信されますが、その配信先をアルファメールのアドレスに変更することができます。
- 転送先がSPF認証を行っている場合でも転送拒否されず配信されます。
- この機能を利用した場合、転送ループによる負荷防止のため、同一送信元のメールが1分間に10通以上転送された場合、転送されなくなります。

※SPF認証とは：不正メールを防止するため、メールアドレスが正しい送信サーバから送られているかを確認する機能です。  
 ※転送ループとは：転送先から転送先へエラーメールが送った場合、そのエラーメールをさらに転送してしまい新たなエラーメールが転送者へ返る、という繰り返しによって、メールの転送が止まらなくなる事態を指します。

| 有効                               | 無効                               | 転送先アドレス  | 条件設定   |
|----------------------------------|----------------------------------|--|--|
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/>            | forward@it-manual.info <span style="float: right;">✕ クリア</span>  | 条件の範囲: <input checked="" type="radio"/> すべての条件に該当する場合(AND)<br><input type="radio"/> いずれかの条件に該当する場合(OR) |
|                                  |                                  | <input type="checkbox"/> 件名: <input type="text"/> (最大100文字)<br><input type="checkbox"/> From: <input type="text"/><br><input type="checkbox"/> To/CC: <input type="text"/><br><input type="checkbox"/> 日付: <input type="text"/><br><input type="checkbox"/> 曜日: <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土<br><input type="checkbox"/> 時間帯: 0:00AM - 0:00AM<br>添付ファイル: <input type="radio"/> 添付を削除して転送<br><input checked="" type="radio"/> すべて転送 | <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>                                 |
| <input type="radio"/>            | <input checked="" type="radio"/> | <input type="text"/> <span style="float: right;">✕ クリア</span>  |  |
| <input type="radio"/>            | <input checked="" type="radio"/> | <input type="text"/> <span style="float: right;">✕ クリア</span>  |  |

転送設定

届いたメールを別のメールアドレス宛に転送します。

- 転送したメールのコピーを元のアカウントのメールボックスから削除したい場合は、「コピーを残さない」を選択してください。
- 「コピーを残す」を選択した場合、メタデータが継承されたままになりますので、メールソフトで受信して削除する必要があります。
- 件名、From、To/CC、日付、曜日、時間帯別に、より詳細な条件を追加したい場合は、「条件設定」欄の歯車のアイコンをクリックしてください。
- 条件設定が行われているアドレスには、チェックマークが表示されます。
- 「サーバにコピーを残さない」を選択し、転送条件に当てはまらない場合は、メールが送信されずサーバに残りますので、ご注意ください。
- 文字列を入力欄に貼り付けた場合、入力制限を超えた文字列は自動的に切り取られます。

**保存設定:**  コピーを残す  コピーを残さない  
 転送先からのエラー配信先を administrator@it-manual.info にする。

- 転送したメールが転送先に届かない場合、通常は送信元エラーメールが配信されますが、その配信先をアルファメールのアドレスに変更することができます。
- 転送先がSPF認証を行っている場合でも転送拒否されず配信されます。
- この機能を利用した場合、転送ループによる負荷防止のため、同一送信元のメールが1分間に10通以上転送された場合、転送されなくなります。

※SPF認証とは：不正メールを防止するため、メールアドレスが正しい送信サーバから送られているかを確認する機能です。  
 ※転送ループとは：転送先から転送先へエラーメールが送った場合、そのエラーメールをさらに転送してしまい新たなエラーメールが転送者へ返る、という繰り返しによって、メールの転送が止まらなくなる事態を指します。

| 有効                               | 無効                    | 転送先アドレス  | 条件設定   |
|----------------------------------|-----------------------|--|--|
| <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | forward@it-manual.info <span style="float: right;">✕ クリア</span>  | 条件の範囲: <input checked="" type="radio"/> すべての条件に該当する場合(AND)<br><input type="radio"/> いずれかの条件に該当する場合(OR) |
|                                  |                       | <input type="checkbox"/> 件名: <input type="text"/> (最大100文字)<br><input type="checkbox"/> From: <input type="text"/><br><input type="checkbox"/> To/CC: <input type="text"/><br><input type="checkbox"/> 日付: <input type="text"/><br><input type="checkbox"/> 曜日: <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土<br><input type="checkbox"/> 時間帯: 0:00AM - 0:00AM<br>添付ファイル: <input type="radio"/> 添付を削除して転送<br><input checked="" type="radio"/> すべて転送 | <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>                                 |

「Fromを追加する」をクリックすると、最大5アドレスまで設定できます。

# 迷惑メールフィルタ

## 言語フィルタを設定する

「日本語」と「中国語」を個別に設定することができます。



迷惑メールフィルタ

件名フィルタ 送信者フィルタ 言語フィルタ 受信許可リスト

- チェックを入れた言語設定のメールを迷惑メールボックスへ隔離します。
- 判定はメールヘッダの設定により判別します。
- HTML形式で送られるメールの場合迷惑メールと判別できないものもありますので、ご了承ください。

言語フィルタの設定  
(受信しない言語を選択してください)

英語

韓国語

日本語

中国語

ロシア語・キリル文字言語

アラビア語

保存

管理者メニューに戻る

リリース時に「日本語・中国語」チェックが入っている場合、「日本語」にのみチェックがある状態になります。